

平和ってなんだろう？

平和体験学習報告者

橋 美香（トナム中2年生） 青山桃菜（トナム中1年生）
蔵田芽子（トナム中1年生）

第28回
平和体験学習

8月4日～7日

この報告は、子どもたちの報告書から抜粋したものです。

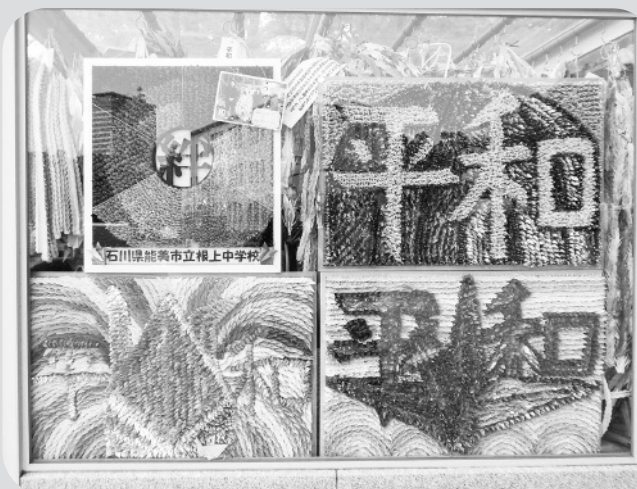
【平和記念公演】



←この写真は、禎子さんの像です。被爆した禎子さんは10年後に白血病を発症し、治ると信じ鶴を折り続けました。しかし、願いがかなわず亡くなってしまいました。

原爆で亡くなった多くの子どもたちの慰霊と平和への願いを込めて全国の子供たちからの募金とイギリス他9か国からの支援により建設されました。

側にはたくさんの折り鶴が飾られていました。



折り鶴で作られた文字です。平和記念公園のほかにもたくさんの折り鶴がありました。日本には平和を願っているたくさんの方がいました。ビックリしました。



手話をつけながら「千の風になって」という曲を歌っています。平和公園ではギターをひいて平和のメッセージを伝える人や紙芝居をする人などがたくさんいました。

【原爆被害者 8・6 証言のつどい】



原爆被害者 8・6 証言のつどいでは、戦争のことや原爆が落ちたときの様子を聞くことができました。体験談が聞けることを楽しみにしていました。

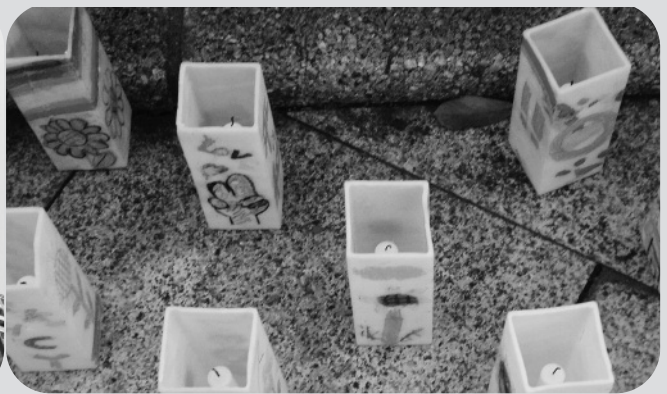


お話を聞くことができ勉強になりました。証言してくれる人が少なくなってしまっているのが残念です。

【原爆ドーム】



原爆ドームです。原爆の影響で、鉄骨と一部のコンクリートになってしまいました。



原爆ドームの周りに並べられた「ピースキャンドル」です。平和のメッセージが書かれています。

【ピースメッセージ灯ろう流し】



灯ろう流しの紙に「これからもずっと平和」など世界平和のメッセージを書きました。



平和への願いが書かれた多くの灯ろうが流されていました。願いがかなうといいなと思いました。

【広島に行って】

子ども代表の平和への誓いで、「平和とは安心して生活できること、平和とは一人ひとりが輝いていること、平和とはみんなが幸せを感じることに、自分たちが自らつくりだすもの」と言っていました。確かに、みんなが幸せを感じたらいいし、自分たちが平和をつくり出すんだと思いました。

平和とはみんなが安心して生活でき、幸せに暮らすことだと思います。

原爆者の証言をする人が年々減少している中、体験者の証言を聞いたことは非常に貴重な体験でした。

「戦争には夏休みなんてない」多くの子どもたちは原爆が落ちる前から勤労作業を行い、その作業中に亡くなってしまったことに心が痛みました。

学校では教えてもらえないことをたくさん学習してきました。これからの勉強に生かしていきたいです。

貴重な体験をする機会を与えていただきありがとうございました。